当院の大腸検査について

大腸検査には、①大腸内視鏡検査 ②大腸 CT 検査 ③注腸 X 線検査 があります。 当院では、これまで大腸内視鏡検査のみを行っていましたが、新たに大腸 CT 検査を導入 いたしました。

大腸内視鏡検査は、ポリープのような腫瘍だけでなく、出血性病変や炎症性病変を見つけ出すのに適しています。また、組織検査やポリープ切除を行うこともできます(当院ではポリープ切除は行っていませんので御了承ください)。

一方で、腸を洗浄するために大量の下剤が必要であること、苦痛を伴うことが多いなどの 欠点があります。

大腸 CT 検査は、下剤と一緒に造影剤を服用することで、多少便が残っていても病変を見つけることができますので、下剤の量が少なくてすみます。

肛門から炭酸ガスを注入して腸管を膨らませて撮影しますので、内視鏡検査のような苦痛が少なくてすみます。特に腹部手術後で癒着があり内視鏡の挿入が困難な方でも検査を行うことができます。

一方で、小さい病変を見つけるのには適していない、組織検査や治療ができない、X線被 曝があるため短期間で検査を繰り返すことができない、などの欠点があります。

大腸がんによる死亡数は年々増加傾向にあります。大腸がんは、癌死亡原因の女性 1 位、 男性 3 位(2019 年)となっています。これまで大腸検査を敬遠されていた方も、これを 機会に是非とも大腸検査を受けてください。

	1位	2 位	3 位	4 位	5 位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

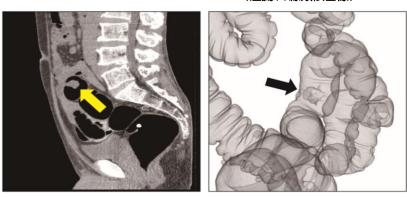
がん死亡数の順位(2019年)

病変①

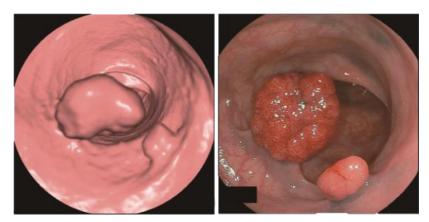


病変②

<注腸 X 線類似画像>



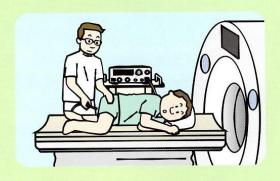
<大腸 CT> <大腸内視鏡>



伏見製薬(株)製品パンフレットより

大腸CT検査の実際

- 1 検査前日または当日にお薬(下剤や造影剤など)を飲んで腸の中をきれいにします。
- 2 検査着に着替えて検査室(CT室)に入り、検査台に横になります。
- ③ 細いチューブを肛門から 数cm入れ、炭酸ガスある いは空気を注入して大腸を 膨らませます。



4 CT撮影をします。うつ伏せとあお向けで、それぞれ約10秒間撮影を行います。



- 5 チューブを抜き、検査終了です。
- ⑥ 撮影した画像をもとに仮想大腸内視鏡像・注腸類似像などを 作成し診断します。

大腸 CT 検査と大腸内視鏡検査の比較

大腸内視鏡検査	大腸 CT 検査
(長所) ・病変の詳細な観察が可能 ・組織検査やポリープ切除を同時に行う ことができる (当院ではポリープ切除は行っていません)	(長所) ・苦痛が少ない ・腸穿孔などの合併症が内視鏡検査に比べて少ない ・ひだの裏側など、内視鏡で観察の困難な部位も観察可能 ・造影剤を服用することで下剤の量が少なくてすむ ・肝臓、膵臓などの他臓器も同時に観察することができる
(短所) ・苦痛を伴うことが多い ・下剤の量が多い ・腸管穿孔などの合併症リスクが、他の検査に比べて高い	(短所)・小さい病変を見つけたり、病変を詳細に 観察することが困難・X線被曝をともなう